

就業体験の評価と課題について

高等部2学年（10日間）、1学年（5日間）の就業体験が終了しました。体験期間中、生徒たちは、それぞれの事業所で個々の目標を達成すべく業務に取り組むことができました。各家庭では健康管理に留意したり、一日の振り返りをしたりしていただくなど、ご協力ありがとうございました。

事業所から評価されたこと、課題として挙げられたことをまとめました。課題として挙げられたことは、日々の学校生活の中で改善できるように支援し、今後の進路選択や進路決定のための指導に生かしていきたいと思えます。

○評価

（報告・連絡・相談等）

- ・分からないことがあれば、自ら進んで聞くことや作業が終わった後は、「終わりました。」「確認お願いします。」と報告することができた。
- ・挨拶や報告時は、聞き取りやすく、はきはきと言っていた。
- ・分からないことや疑問があれば素直に聞いていた。

（挨拶・返事、コミュニケーション）

- ・挨拶や返事、離席するときの言葉掛け等はしっかりしていた。態度や社会人としてのマナーはよかった。
- ・勤労意欲や会社・社会のルールの厳守について問題なかった。
- ・積極的に利用者やスタッフと関わりをもっていた。
- ・利用者の方とコミュニケーションをとるときは、目線を合わせて話を聞き、優しい口調で会話を楽しんでいる姿が良かった。
- ・利用者の笑顔を多く引き出しており、会話もスムーズにしていた。

- ・朝、元気がなく、挨拶の声が小さかったが、時間が経つにつれて、大きな声で挨拶をすることができるようになった。
- ・素敵な笑顔と大きな挨拶もよかった。

(作業能力)

- ・言葉と手本で説明するとまねて指示どおりできた。
- ・軽作業では、一連の流れを理解し、円滑に作業を進めることができた。
- ・初めてのことを伝えるときは、必ずメモを取りながら聞いてくれた。
- ・積極的に作業に取り組む姿から真面目さが伺えた。
- ・決められた時間集中して取り組んでいた。一つ一つ確認し、丁寧に作業していた。
- ・慣れないことにも前向きに取り組んでいた。
- ・スタッフの説明や仕事内容は理解し、最後まで集中してやりきることができた。
- ・見本を見て、丁寧に作っていました。また、仕事の飲み込みも速くて驚いた。

○課題

(作業能力)

- ・周りが話をしているとき、また、自分が話をする際、話に集中してしまい、手が止まってしまった。
- ・入力作業の入力ミス、漏れ、自己判断によるミスが目立った。
- ・数時間で終わる仕事が一日がかりとなった。時間掛かりすぎである。
- ・メモを取らなかったのが気になった。同じミスを繰り返さないためにもメモは大切である。
- ・作業の遂行面では正確性に欠けることもあり、手順の一つ一つに指示や言葉掛けが必要だった。

- ・ 2日目以降午前中の声が小さく、作業の途中で伸びをしたり、疲れたと声に出したりすることがあった。
- ・ 重量物を運び続ける持久力が必要である。
- ・ 丁寧過ぎて、作業スピードを上げることができなかった。
- ・ 新しい作業についてメモ帳に書くが、活用がされていないように思った。一日の業務が終わった後、自宅、朝作業を始める前にメモを見返す習慣があるとよい。

(挨拶、返事、コミュニケーション)

- ・ 話の取捨選択ができるとよい。
- ・ もう少し、はっきり大きな声で挨拶や返事ができるとよい。
- ・ 挨拶や報告など声を出すことがほとんどなかった。
- ・ 挨拶の音が小さく、知っているスタッフだけにしているところがあった。元気な声で誰にでもできるようになってほしい。